

## 第8回（令和7年度第3回）千葉市部活動地域移行推進協議会 議事録

1 日 時 令和8年3月30日（月） 14時00分から15時30分まで

2 会 場 千葉市役所高層棟10階 教育委員会室

### 3 出席者

【委員】 堺議長、小田委員、石井委員、大河原委員、三谷委員、宮下委員、宍倉委員、師橋委員

【事務局】 教育指導課：小石課長、西田指導主事

保健体育課：桑田部活動地域移行担当課長、島田主任指導主事、小山総括コーディネーター、  
木下主任主事

スポーツ振興課：山崎課長補佐、奈良担当課長補佐

文化振興課：吉野課長

### 4 議 題

(1) 令和7年度取組みの成果と課題について

ア 実証事業の最終報告及び成果分析

イ 地域指導者育成・確保の成果と課題

(2) 令和8年度取組み

ア 休日部活動の地域展開：全市・全種目での「完全実施」に向けた拡大計画

イ 受益者負担に向けた「費用徴収モデル事業」の実施

ウ 休日の地域展開に関するロードマップ

エ 平日の地域展開のロードマップ

(3) その他

ア 他自治体の動向

イ 取組みに関する周知状況

### 5 会議経過

○事務局（奈良担当課長補佐）

それでは、定刻になりましたので、ただいまより、第8回千葉市部活動地域移行推進協議会を開会いたします。本日はお忙しい中、委員の皆様のご出席を賜り、ありがとうございます。会議に先立ちまして、机上に配付しております資料の確認をさせていただきます。本日の進行を努めます、スポーツ振興課の奈良でございます。どうぞよろしくお願いいたします。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、市のホームページで公開いたしますので、あらかじめ御了解ください。なお、学校教育部長が所用により欠席となりますので、設置要綱第4条第5号にもとづき、副会長である生活文化スポーツ部長が代理として、本日の議事進行をいたします。それでは、開会にあたりまして、堺部長からご挨拶を申し上げます。

○堺議長

日頃より、本市の部活動地域展開にご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。本年度最後となる、部活動地域移行推進協議会の開催に先立ち、挨拶申し上げます。改革推進期間の最終年となる今年度は、市内全校

で複数部活を対象とした地域クラブの実証事業を実施してまいりました。会議の中でも触れることとなりますが、参加した生徒を対象としたアンケートでは、満足度が90%と、高い評価をいただくことができました。このような高い評価をいただくことができた要因は様々あるかと思いますが、もっとも大きいことは、生徒へ専門的な指導をいただく地域人材の皆様の協力があつてこそのことだと感じています。専門的な指導を受けられた、指導者が親しみやすかった、など指導者を評価する声も多くありました。また、地域クラブでの指導だけではなく、指導者の方が所属する団体などと生徒との交流の機会を設けていただくなど、普段の活動の枠を超えて、千葉市の子どもたちへ多くの貴重な経験を提供いただくこともできました。改めて、この場を借りて、関係者の皆様にお礼を申し上げます。一方で、全国でも多くの自治体で地域展開の取組みが急ピッチで進められており、神戸市などでは8月で平日も含めて部活動を終了し、すべて地域クラブとして活動する方針であるなど、平日も含めて部活動を廃止する自治体も出てきています。来年度から始まる改革実行期間においては、期間内に、休日は確実に地域展開を実施し、平日についても、地域の実情に応じて取り組むように、と自治体に求めています。休日の地域展開だけでも様々な課題があり、様々な検討や多くの調整を行ってきたところですが、平日の地域展開となると、さらなる指導者の確保や、総体や新人戦などの市が主催の大会や、各種協会・団体が主催している大会・コンテストなどへの対応も迫られてきます。引き続き、地域展開に関して、皆様とより一層の連携を図り、本市の子どもたちにとって持続可能で魅力ある地域クラブ活動環境を構築できるよう、取り組んでまいります。本日も、本市にとってふさわしい地域クラブ環境を構築できるよう各委員の立場から様々ご意見いただければと思います。

○事務局（奈良担当課長補佐）

ありがとうございました。それでは会議の進行を議長である生活文化スポーツ部長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○堺議長

それでは、お配りしております次第に基づき進めさせていただきます。まず、今回の推進協議会については、事業の進捗状況についての報告及び前回の推進協議会から検討状況の報告にもとづく協議が主な内容となっております。それでは、次第に記載の議題について、事務局説明をお願いします。議題を順に説明いたしますが、適宜ご意見・ご質問をお願いします。

○事務局（桑田担当課長）

※別紙「会議資料（P3～11）」に沿って説明

○堺議長

説明ありがとうございました。実証事業の最終報告と成果分析について、ご質問などありましたら、お願いいたします。

○小山総括コーディネーター

実証事業において、事業者等に実施をお願いしている地域クラブとしての内容充実の取組みについては保健体育課も視察を行っています。特に印象に残っているのは、千葉大学の卓球部の学生が指導者として活動してくれている地域クラブにおいて、指導者がチームメイトを誘い、学生複数人が地域クラブの活動に来てくれて、生徒との練習試合を実施したことです。このほかにも、種目と関係なく、タッチラグビーや走り方、体幹教室といったものから救命講習などの様々な経験ができるイベントを開催した事例もあり、特にAEDは生徒だけでなく指導者も一緒に参加しており、参加した生徒・指導者からは「勉強になった」という声をいただきました。これらの地域クラブの内容充実の取組みは、今後の千葉市の強みにつながっていったら良いと思いま

す。

○堺議長

千葉市には大学が多いので、そこで先輩から後輩にいろいろ引き継いでいただきながら、徐々に取組みが広がっていったらそこは今後の千葉市の強みになるのではないかと思います。

○堺議長

生徒や管理職・教員や地域指導者の方々によって、それぞれの立場からアンケート結果にばらつきがあるようですが、これは令和8年度に向けて早急に解決すべき部分と、展開中のなかでいろいろご意見がある部分があると思いますが、特に来年度に反映させなければならぬものはございますか。

○事務局（桑田担当課長）

地域指導者の満足度を高めていく必要があるのではないかと考えています。特に、指導者が困っていることに対して運営事業者がサポートできるような体制づくりを構築することが重要であると考えていますので、令和8年度は改善していきたいと考えています。

○宮下委員

指導者がどのような困り感があったか教えてください。

○事務局（桑田担当課長）

地域クラブの指導者として1人で登録し、毎回指導に行っていたが、ほかの地域クラブでは指導者として複数で登録し、ローテーションで指導を行っている地域クラブもあることを練習試合等で初めて知り、「社会人でも取り組みやすい仕組みができたんですね」という意見をいただいたことがありました。また、学校と指導者で活動内容についてうまく意思疎通ができなかったこともありましたが、そこで運営事業者が間に入って両者のフォローアップを行う必要があったのですが、運営事業者からのリアクションが遅かったりして指導者が困っていたことがありましたので、令和8年度はこれらをより円滑にフォローアップできるように取り組んでまいりたいと考えています。

○宮下委員

4月からスタートを希望する声があると思うが、実証事業は9月から開始するのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

予算や調達に関する事務手続きの関係もありますが、すべての部活動で休日部活動の地域展開を実施するまでは、4月にスタートすることは難しいと考えています。なお、土気南中学校では令和6年8月からすべての休日部活動を継続的に地域展開する実証事業を行っており、教員の負担軽減等にもつながっており、効果を上げているとの認識です。また、他の地域指導者からも引き続き4月以降も指導をしたいという声をいただいておりますので、早期にすべての部活動が地域クラブとして4月スタートできるようにしたいと考えています。

○師橋委員

部活動地域展開としては千葉市全体の子どもたちが平等に実施できているのでしょうか。それとも偏っている部分があるのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

令和7年度はすべての部活動を対象としておらず、休日に活動している部活動が500～600部程度ありますが、そのうち151部活が対象となっています。実証事業の対象ではないところは、部活動として活動している状況です。

○堺議長

それでは、事務局は続きの説明をお願いいたします。

○事務局（桑田担当課長）

※別紙「会議資料（P 1 2～1 5）」に沿って説明

○堺議長

ただ今のご説明につきまして、ご意見やご質問等ございましたらお願いします。

○小田委員

人材バンクの登録のところで年代別のところはよくわかりましたが、種目的にはばらつきはございますか。

○事務局（桑田担当課長）

種目でいうと、最新の統計は取っておりませんが、野球やバスケットボール、サッカーなどは多い傾向があります。また、卓球などは少ない傾向です。不足する種目については、大学の卓球部や競技者などにアプローチをしながら指導者確保を進めていきたいと考えています。

○宮下委員

研修制度についてお伺いしたいのですが、他の市町村で同じような研修を受講した指導者が千葉市で指導を行う場合、改めて研修を受講するのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

研修を受講していただきたいと考えておりますが、今後、JSPQ の研修などを受講した方について研修を免除するかどうかが課題であると捉えています。また、教員は研修を免除する自治体もあると聞いておりますので、そのあたりの整合性も整理していく必要があると考えています。なお、吹奏楽では、千葉県吹奏楽連盟で部活動指導員認定講習を開催いただいておりますので、そういった取組みで行っている講習の内容と国が定める認定制度の項目の内容とで、どの程度充足できるか整理していく必要があると考えています。

○堺議長

それでは、事務局は議題 2 の説明をお願いいたします。

○事務局（桑田担当課長）

※別紙「会議資料（P 1 6～2 1）」に沿って説明

○堺議長

ただ今のご説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

○大河原委員

今は学校現場でも少しずつ説明が浸透していると思いますが、連絡系統での課題が上がってきている状況です。具体的には、アプリで出欠回答がない方への対応など、本来は指導者と保護者同士で連絡いただくべきところを保護者が学校に連絡が来てしまい、その対応が大変だったという声を聞いています。また、指導者が活動日時を伝達ミスしてしまい、そのとき学校にいた教員が対応したこともあったと聞いておりますので、連絡調整についてはこれから課題になってくるのではないかと思います。先ほど大会の件も出ましたが、大会にクラブで出場することになり、3月に部長を交代した事例があると聞きましたので、子どもたちが困らないようする必要があります。また、吹奏楽で他校の生徒や保護者・地域の方が施設内に来ることへの安全性は大丈夫か、という不安の声が先生方からあがっています。

○事務局（桑田担当課長）

保護者の方が学校に連絡してしまう事例があることは聞いております。保護者が部活動と同じ感覚でいることや、部活動と地域クラブのどちらの活動かわかっていないということが多いため、そのあたりは完全実施の

際にはきちんと切り替えができるように、啓発をしていく必要があると考えています。

また、指導者が日時を間違えていたり、指導者間で連携ができていなかったりしたことにより、地域クラブ活動に指導者が来なかったことで、生徒や学校へ迷惑をかけた事例があると聞いています。子どもたちが携帯電話等を持っている場合は保護者や受託事業者に連絡することができると思いますが、携帯電話等を持っていない場合の対応について課題であると考えています。また、「部長が交代の件」は、おそらく本市の実証事業の件ではなく、いままで民間クラブチームに所属している生徒は大会ごとに民間クラブチームでも部活動でも出場できていたが、大会の規約が変更となり、民間クラブチームか部活動かどちらかでしか出場できなくなったことにより発生した事例であると思います。

最後、他校の生徒や保護者が施設を利用することの学校側の懸念について、学校施設を利用できなくなると吹奏楽などの活動ができなくなってしまいます。一方で、校舎内で音楽室までの一部ルートを警報装置の解除する場合は設定が複雑になってしまうので、現状は対応が難しい状況です。地域クラブ以外にも学校内では改修工事等をする場合、休日なども施工業者が校舎内を移動していますので、それと同様の対応をしていただき、そのなかでもしトラブルがあれば運営事業者のほうで改善していきたいと考えています。学校によっては、生徒が来る時間を決めておき、その時間を過ぎた場合は施錠するので、遅刻した生徒がいた場合は、施設が施錠されているので途中参加等ができず帰宅した事例もあると聞いています。学校によっては他校の生徒が参加することについて協力いただいている学校と、時間を決めて施設を施錠している学校もあり、学校によって差が大きいと感じております。

○大河原委員

セキュリティの問題は、学校側の意識の問題もあると考えています。プライバシーの問題などもありますが、学校側も気をつけなければならないところもあると思いますので、こちら側としても施設に入るときルールについて共通理解をしていかなければならないと思いました。

○宮下委員

実証事業では地域クラブで活動していると思いますが、大会に出るときは部活と地域クラブのどちらで出場しているのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

新人戦などは部活動で出場いただいています。それ以外の大会やコンクールは地域クラブで出場いただいている事例もあれば、部活動で出場している事例もあります。

○宮下委員

実証事業の学校で兼職兼業の先生が地域クラブで大会に参加できるのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

はい。実証事業の学校で兼職兼業の先生が地域クラブで大会に参加している事例はあります。ただし、学校事情により部活動で出場している学校もあります。

○宮下委員

地域クラブで大会に出場して成績を残した場合には「〇〇地域クラブ」になるのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

はい。おっしゃる通りです。

○堺議長

それでは、事務局は議題3の説明をお願いいたします。

○事務局（桑田担当課長）

※別紙「会議資料（P 2 2～2 6）」に沿って説明

○堺議長

ただ今のご説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

○師橋委員

最終的には地域クラブとして活動するのでしょうか。

○事務局（桑田担当課長）

まずは休日部活動の地域展開を進めています。最終的には平日の部活動も廃止して、すべて子どもたちの活動は地域クラブで活動していくことを目指しています。そのやり方は様々であり、神戸市は令和8年9月から部活動を廃止しすべて地域クラブで活動することとしています。千葉県内では、平日は部活動として活動し、休日は地域クラブで活動することをまずは取り組んでいる自治体が多い状況です。

○師橋委員

ひとつひとつの競技にも協会があって、みんなが納得して出来上がるのなら良いですが、ここだけで動いてしまっているように見えます。千葉市は政令指定都市で大きいので、例えば美浜区と緑区で同じことを行うのは難しいと考えているので心配しています。私は千葉市のスポーツ推進委員を行っており、各地域にスポーツを反映させるために実施していますが、ひとつの組織としてピラミッドの形ができあがらないとなかなかこういった話は進められないと考えています。例えば、バレーのコーチングするにしても、地域差が生まれているので、地域クラブのバレー協会をつくって、みんながある程度はこういう風にやっていきましょう、ここから先は皆さんの力ですよ、みたいな形ができあがらないといけないと思いました。

○事務局（桑田担当課長）

実際に各協会の中学校部門とも連携を密にしながら、各協会ともより連携していきたいと考えています。

○師橋委員

ある程度組織を作っていないと難しいと思います。一番大切なのは子どもたちの交通の安全も考えていかなければならないと思います。

○堺議長

ご指摘のところもあると思ひまして、ここだけで決めているわけではなく、現場の意見を吸い上げていただきながら、ひとつひとつ検討しておりますので、引き続き関係団体と連携を密にしながら進めていただきたいと考えています。

○堺議長

それでは、当初予定されていた議題については、以上となります。来年度は、いよいよ受益者負担の取組みを行うこととなります。また、休日の地域クラブの完全実施に向けた方針策定・決定に向け取組みを加速させる必要があります。本協議会において議論を重ねて、より良い地域展開となるよう、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。それでは、進行を事務局にお返しします。

○事務局（奈良担当課長補佐）

長時間にわたり、議論いただきありがとうございます。また、今年度の推進協議会については、最後の開催となりますので、皆様から一言、ご挨拶をお願いできればと思います。まずは、委員長の隣から時計回りで、一言ずつお願いいたします。

○小田委員

ありがとうございました。丁寧に説明資料もご用意していただきながら、校長会には段階的に進捗状況などもお知らせいただき大変助かりました。物事を動かしている移行期間が一番大変ではないかと考えております。平日は部活動で、休日は部活動となっており、主体者が2つあって、指導者も2種類いて、だから連携も難しいところがあるのだと思います。先々見たときに、移行などを踏まえたうえで何を今やるべきか整理しながら、スケジュール感を大事にいただきながら、学校現場としては保護者や地域や生徒への説明責任が発生しますので、わかりやすく、具体的に、先に見える説明をするためには計画的に進めていただくことを大事にさせていただきたいと考えています。どうもありがとうございました。

#### ○石井委員

2年間にわたり、この立場で会議に参加させていただきました。政令指定都市という大規模な地域ゆえの難しさもあり、保健体育課の提案がスムーズに進む一方で、現場レベルでは他地域に比べて一筋縄ではいかない現状を痛感してまいりました。地域移行班の皆様が3年間ご尽力されてきたことは、千葉市小中学校体育連盟の立場からも十分に理解しております。しかし、体育連盟としての真の取り組みは『これから』が本番だと考えています。今後は各競技協会との関係性を築き、どのように大会を運営・関与していくかが課題となります。そのためにも、県や関東、全国の動向を注視していく必要があります。また、校長の立場としてはセキュリティ面を危惧しています。実証事業に参加させていただいた際に、アラーム設置場所の変更などは行いましたが、門の開閉や連絡体制の不備によって、生徒の安全確保が不十分な状態になることは、決してあってはならないと考えています。今後、施策の推進やアンケート調査なども重要になりますが、常に『生徒のための地域展開である』という原点を忘れず、取り組んでいく所存です。ありがとうございました。

#### ○大河原委員

ありがとうございました。また現場の声を上げていきたいと考えています。始めてから変えられるものと始めた後は変更しづらいものがあると感じておりますので、どこを枠を決めてスタートし、どこを実施しながら改善していくかが大切であると考えています。最初から完璧なものはむずかしいと改めて感じており、協会との関係なども複雑で、大会によってルールが違うこともあると思います。本当に大変ななか実施いただいているのはよくわかりますので、ぜひいろいろなところの声を聞きながら進めていただきたいと思います。ありがとうございました。

#### ○三谷委員

保護者も最初の頃は不安の声をいただいていたのですが、今はホームページなどで定期的に発信していただいておりますので、ご理解をいただいていると考えています。どういう風に動いている最中なのか、どういう風に向かっているのか、今後も発信していただけると、保護者も安心して協力いただけたと思います。政令市のPTAの会議に参加しましたが、急ピッチで進めて動き出した自治体と、まだまだ進んでいない自治体と、一步一步検証しながら進んでいる自治体があり、政令市でも進み方は違いました。話を聞いていると千葉市は検証しながら進めているので、不安の声は比較的少ないのではないかと考えています。どうぞよろしく願います。

#### ○宮下委員

私は初回から参加させていただいております。毎回いろいろな資料を準備いただき、明確な方向性を示されてきているのではないかと感じます。課題が出たものについては、すぐに対応いただき大変助かります。当会の担当者が吹奏楽などの催し物にも積極的に視察していただき、生の声を聞いて、課題として捉えて解決の方向を示していただいていることについては高く評価します。引き続き現場の声を第一優先で願います。最

後に、場所や指導者を提供しても参加するこどもが減ってしまうと、何のための部活動地域展開かわからなくなってしまいます。こどもたちのやる気の喚起、維持等、生徒指導（教育）という視点も大切にしながら進めていってください。また、経済的な理由で参加できないようなことがないよう、支援等を構築してほしいと強く要望します。

○宍倉委員

ありがとうございます。これまで会議に出席し、本当に丁寧に進めていらっしゃるな、ということを実感しております。アンケートを取られている中で、不満に思っていることが何なのかというのが、それぞれの主体によって異なると思います。「概ね満足している」というアンケート結果よりも、その不満に思っている課題を早めに丁寧に拾って、原因分析や課題解決を見出していくことが千葉市全体でこの事業が早く実現するのではないかと考えています。それについて、当財団でも協力できることがあれば協力したいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。お世話になりました。

○師橋委員

先ほどお話を聞いて、「地域クラブのため」ではなく「こどものため」の地域クラブになっていただきたいと考えています。千葉市には宝の子がたくさんいると思いますので、できるだけみんなが平等に参加できるようになると良いと思いました。

○堺議長

文化政策、スポーツ振興という立場で2年間会議に参加させていただきましたが、皆様のコメントにもありましたとおり、当事者の声を聞きながらここまで進めてこれたのは良かった。今後、さらにフェーズが上がっていきますので、引き続き来年度も着実な取組みをお願いいたします。また、委員の皆様には引き続きのご支援をいただければと思います。2年間どうもありがとうございました。

○事務局（奈良担当課長補佐）

次年度の推進協議会については、委員の変更等があるかと思っておりますので、事務局からお問い合わせさせていただきます。また、国のガイドライン等で、地域移行という名称が地域展開という名称に変更になっております。そのため、本協議会についても、名称の変更を予定しておりますので、ご承知おきください。以上を持ちまして、「第8回千葉市部活動地域移行推進協議会」を閉会いたします。